

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:平成30年12月28日

事業所名: いよっこリーナえがお

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7				15	2	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・広々とした空間であると感じます。 ・最初に見学に行った以来、中に入る事はないのでどの部分～どの部分までが活動スペースになっているのかまでは把握できていない。 ・死角が多く、子どもの怪我、トラブルがある。スタッフが見れていないのではないか。 ・怪我やトラブルで子どものトラウマとならないか心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定基準を満たしたスペースを確保し、活動スペースとして提供させていただいています。 ・児童の状況を考え、活動スペースには職員が配置できるようにしています。 ・パンフレット等で事業所内の案内図を表示しています。 ・起きた事故に関しては事故報告により職員間で話し合いを行い、事故防止に努めています。
	2 職員の適切な配置	4	3		・パート職員の配置が難しいときがある。	10	2		10	<ul style="list-style-type: none"> ・配置数が分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置基準を満たした職員数を配置しています。 ・重要事項説明書に記載し、説明しています。重要事項説明書は閲覧できるよう事業所内に設置しています。 ・保育士及び児童指導員を配置しており、基準以上の人員は加配職員としています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	5	2		・配慮を心がけているが。障がいの程度によりバラつきもあるため至らない点もあるかもしれない。	13		1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に関してはよく配慮いただいている。 ・参観できるような日があれば、中の様子や活動の様子が分かりますが、普段は仕事の日に預かってもらっているのになかなか参観といっても難しくもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上難しい部分を除いてバリアフリー化しています。 ・その日ごとの予定等を知らせ、参加しやすいようにしています。 ・個室、カームダウン室を有効利用できるようなしていきます。 ・参観や見学等は随時受け付けています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7							<ul style="list-style-type: none"> ・清潔感があります。職員の方の掃除が行き届いていると思います。 ・参観できるような日があれば中の様子や活動の様子が分かりませんが、普段は仕事の日に預かってもらっているのなかなか参観といっても難しくもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除は欠かさず行っています。 ・季節や活動内容に合わせた壁面等を工夫しています。 ・参観や見学等は随時受け付けています。 	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	4	3		・パート職員に情報が行き渡っていないことがある。						<ul style="list-style-type: none"> ・出勤日数の少ないパート職員とも情報共有がスムーズに行なえるよう、引継ぎの方法等をより工夫していきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		1	6	・評価表を用いた調査は今回が初めて。						<ul style="list-style-type: none"> ・今回より実施しています。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6		1							<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、事業所内での研修会を実施しています。外部研修への参加や、発達検査の研修等も行っていきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1						<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の更新がある時に一緒に書面で確認したい。 ・1か月の内でよく預けていてもしっかりと見ていただけています。 ・希望も聞いていただけています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども及び保護者様との面談によるアセスメントを行っています。定期的なモニタリング時には書面を交付の上で面談を行っています（保護者様のご都合により、電話等で行う場合もあります）。常にニーズや課題の分析を意識し、子どもや保護者様の思いに寄り添った計画を作成していきます。 	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	2	5					3		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを基に放課後等デイサービス計画を作成しています。定期的なモニタリングを通して、適時支援内容の変更を行っています。 	
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	2							<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもに合った形での個別活動や集団活動を放課後等デイサービス計画に取り入れています。 	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5	2		14	3		3	・連絡帳はもちろん、送迎時に様子が口頭でもう少し詳しく聞かせていただければと思う日があります。 ・注意すべきときにしっかり注意してもらっている。	・放課後等デイサービス計画に沿った支援を実施しています。 ・連絡帳に支援内容やご利用時の様子を記入し、送迎時には口頭でご説明しています。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	2	1	・パート職員の意見を聞く機会が少なかった。					・それぞれの職員の意見を十分に取り入れることができるよう、引継簿や回覧表に意見欄を設ける等の工夫を行います。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	1		・子ども達が興味を持っているのが観察し、活動に生かした。	17	1		3	・いろいろな活動があり、とても工夫されていると思います。 ・よく考えられたプログラムだと思う。	・各月、季節の行事や子どもの意見等も取り入れながら、様々な活動ができるように計画しています。 ・子どもの様子や人数に合わせて活動内容の見直しも行き、できるだけみんなが楽しく過ごせるよう工夫を続けていきます。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	3							・休日や長期休暇には放課後利用とは異なる活動や行事を取り入れています。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底			7						・支援内容の確認や役割分担の確認を実施しています。勤務時間の短い職員との確認に少し弱い部分があるため、引継簿や回覧表を工夫し、情報共有がよりスムーズに行えるようにしていきます。	
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	3							・支援の振り返りを実施し、情報共有を行っています。勤務時間の短い職員との確認に少し弱い部分があるため、引継簿や回覧表を工夫し、情報共有がよりスムーズになるようにしていきます。		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	3							・連絡帳にその日の支援内容や様子を丁寧に記入し、日誌等を併用して記録しています。蓄積した記録を基に計画の改善等を行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3	4							・定期的にモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	3							・最も状況を把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	1	6		・ご家族や学校との連携が中心になっている。					・ご家族様や学校との連携が中心になっています。状況に応じて、他の関係機関との連携も行っていきます。
関係機関	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		7							・主治医との直接の連絡は行っておらず、ご家族を通じての連絡調整となっています。必要に応じて他機関との連絡調整を行います。活動中に怪我をした時等、協力医療機関との連絡体制は整えています。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	1	6							・相談支援員連携のもと、各学校とも連携を行っています。 ・保育所、認定子ども園、幼稚園からの移行は今のところありません。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	3		・新しくサービスを利用する時や必要に応じて、担当者会議やケア会議に参加している。					・相談支援員連携のもと、各学校、関係機関と連携を行っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関との連携 (続き)	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	3		・伊予市障害児サービス事業所定例会や愛媛県発達支援通園事業連絡協議会等の定例会や研修に参加している。						・伊予市障害児サービス事業所定例会や愛媛県発達支援通園事業連絡協議会の定例会や研修に参加しています。また、他の専門機関等が開催する外部研修にも参加しています。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4	3		・今のところ児童発達支援は対象者がいない。 ・放課後等デイサービスでは、地域との交流はあるが放課後児童クラブ等との交流はまだ行っていない。	2	1	4	15	・交流しているのかどうか知らないで分からない。	・他の放課後等デイサービス事業所との交流は実施していますが、放課後児童クラブ、児童館との交流はまだ実施していません。子ども神輿等の地域の行事には参加させてもらっています。今後、児童館等との交流(利用)を考えています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	6		1	・地域の祭りや行事に参加させてもらっている。						・事業所単体で地域住民を招いての行事はまだ実施できていません。今後、実施できるよう検討していきます。また、法人としては地域の方にも参加していただく行事行っており、一緒に参加しています。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	2			16	6			・連絡帳はもちろん、送迎時に様子が口頭でもう少し詳しく聞かせていただければと思う日があります。	・契約時等、支援内容や利用者負担等について丁寧な説明を行っています。また、連絡帳への記入や送迎時のご説明を行っています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	3			13	4	2	2	・1度しか説明がなかったため更新や変更点があるときには説明してほしい。	・契約時、支援内容や利用者負担等について丁寧な説明を行っています。 ・定期的なモニタリング時にも書面をもとにモニタリングの状況と計画の変更についてご説明しています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		1	6	・ペアレントトレーニングはまだ実施できておらず、助言を行なう等に留まっている。	6	3	5	7	・対応の仕方等、助言してもらって助かります(送迎時等)。	・現在は助言を行う等に留まっていますが、今後、ペアレントトレーニング研修等にも参加していくことで、より専門的な支援ができるようにしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7			・送迎時に話す機会を活用している。 ・連絡帳を活用している。	13	8	1		・利用日数が少ないので情報交換の機会が少ない。 ・送迎の際に何気なく話したことも活動に取り入れていただきました。	・連絡帳をもとに日々の様子は毎回お伝えしています。 ・送迎時等に保護者様とコミュニケーションを密に取るように心がけています。 ・引き続きご利用時の様子を丁寧に詳しくお伝えできるようにしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	2		・送迎時に話す機会を活用している。 ・連絡帳を活用している。	9	4	8	1	・利用日数が少ないので情報交換の機会が少ない。 ・面談はないが、助言をいただくことはあるので助かっている。 ・面談の時間を年1回とっていただけだったらいいと思う。	・来所時や送迎時に随時保護者様とお話しさせていただいています。また、相談等があれば随時の面談を受け付けていますが、再度その旨を周知していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		1	6	・今のところ父母の会はない。 ・仕事をされている保護者が多く参加が難しい。	2	2	9	9	・父母の会や保護者会などがあるのか知らないで分からない。 ・保護者の方と関わり機会はないです。（仕事の日に預けているため） ・同じ事業所を利用しているお子さんや保護者さんの方も知らない。意見を共有する機会や職員の方にももっとゆっくり話せる機会があってもいいと思う時がある。	・父母の会、保護者会は現在ありません。 ・各家庭の都合等を考えると困難な状況もあると思いますが、ご家族参加の行事や交流ができるような活動を今後考えていきたいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7				12	7		3		・苦情受付相談窓口を設け、窓口担当者及び苦情解決責任者を配置しています。第三者委員も設定しています。迅速かつ適切に対応させていただいています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	3			15	6		1		・障がい特性に応じた意思疎通や情報伝達方法を工夫しています。また、連絡帳や送迎時のお話しを通じて保護者様との情報共有を行っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		7		・「えがお新聞」を発行し、各家庭への配布を行っているが、数回に留まり定期的な実施には至っていない。	6	4	5	6	・ホームページがあることを知らなかったので今後の参考にしたいです。 ・会報やホームページを見たことがないので分からない。 ・年に1度は活動の様子をプリント配布してもらって何かしらの活動の様子を可能な範囲で見たい。 ・たまにでもいいので子ども達がどのようにすごしているか分かる写真などを見る機会があればいいと思います。	・行事予定については毎月、郵送にて各家庭に送らせていただいております。 ・「えがお新聞」を定期的に発行・配布することで、活動内容等が継続してお知らせできるようにしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7			17	2		3		・個人情報の取り扱いは十分に注意させていただいています。 ・施錠できる場所で保管しています。 ・契約時には個人情報の使用について細かく確認、聞き取りを行っています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	3		9	8		4		・各マニュアルは職員が確認しやすいように事務室の見やすいところに置いています。 ・年度初めには職員で確認を行い、周知や共有を図っています。 ・警報時の対応についてのマニュアルを各家庭に配布し、周知を行っています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7			9	3		9	・利用日数が少ないのでよく分かりません。 ・警報時の対応ができています。	・年2回の避難訓練を実施しています。今年度はは消防署員にも来ていただきました。
非常時等の	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	1	5	1	・事業所内で虐待防止に関する研修を行っている。 ・外部研修に参加し、他職員に報告を行っている。					・事業所内で虐待防止に関する研修を実施しています。 ・外部研修にも積極的に参加し、職員間で共有を図っています。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		4	3	・該当する子どもがいない。					・現在該当する子どもはいませんが、虐待防止研修等を通して必要な手続き等を学んでいます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
対応 (続き)	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	2	3	2	・特に保護者から指示書の提示はない。 ・医師からの指示書はいただいていない。						<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、アセスメントを通して食物アレルギーの確認を行っています。 ・保護者様を通じて医師からの指示に基づき対応しています。 ・おやつ作り等、アレルギーに配慮した対応を行っています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	2								<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書を作成しています。職員間で必ず話し合いを行い、共有を図っています。